

令和5年度

関市下水道事業会計決算審査意見書

関市監査委員

目 次

| | | |
|----|--------------|----|
| 第1 | 審査の対象 | 1 |
| 第2 | 審査の期間 | 1 |
| 第3 | 審査の方法 | 1 |
| 第4 | 審査の結果 | 1 |
| 1 | 業務実績 | 2 |
| 2 | 決算報告書 | 3 |
| 3 | 損益計算書 | 5 |
| 4 | 剰余金計算書 | 9 |
| 5 | 貸借対照表 | 9 |
| 6 | キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| 7 | 経営指標 | 11 |
| 第5 | むすび | 12 |

決 算 資 料

| | | |
|-----|---------------------------|----|
| 別表1 | 令和5年度下水道事業会計予算・決算対照表 | 14 |
| 別表2 | 令和5年度・令和4年度下水道事業会計比較損益計算書 | 15 |
| 別表3 | 令和5年度・令和4年度下水道事業会計比較貸借対照表 | 16 |
| 別表4 | 令和5年度下水道事業キャッシュ・フロー計算書 | 17 |

- 注1) 文中及び各表中の金額は、円単位で表示する。
- 2) 比率(%)は、原則として少数第2位を四捨五入し、少数第1位まで表示する。
- 3) 構成比率(%)は、合計が100となるよう一部調整してある。
- 4) 文中に用いるポイントとは、パーセンテージ間の単純差引数値である。
- 5) 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
- | | | |
|---------|-------|-------------------|
| (0.0) | | 該当数値はあるが単位未満のもの |
| (-) | | 該当数値のないもの |
| (△) | | 減少又は損失 |
| (皆増) | | 前年度に数値がなく全額増加したもの |
| (皆減) | | 当年度に数値がなく全額減少したもの |

令和5年度関市下水道事業会計決算審査意見

第1 審査の対象

令和5年度関市下水道事業会計決算

第2 審査の期間

令和6年6月6日から令和6年6月24日まで

第3 審査の方法

審査にあたっては、関市監査基準に基づき、決算報告書、財務諸表、附属資料及び企業で保管する諸帳簿並びに例月現金出納検査の結果を参考にして、関係職員からの説明を聴取し、質疑を行い、併せて事業・工事箇所を抽出し、関係書類の審査及び現場の確認を実施した。

第4 審査の結果

審査に付された決算書、財務諸表等は、いずれも地方公営企業関係法令に準拠し、経営成績及び財政状態が適正に表示されており、その計数は正確であると認められた。また、建設事業の実施状況についても良好であると認められた。

なお、審査の概要及び意見については、次のとおりである。

1 業務実績

業務実績を前年度と比較すると次の表のとおりである。

| 事項 | 令和5年度 | 令和4年度 | 比較 | |
|-----------------------------|------------|------------|-----------|---------|
| | | | 増減 | 増減率 (%) |
| 行政区域内人口 (A) 人 | 84,308 | 84,984 | △ 676 | △ 0.8 |
| 処理区域内人口 (B) 人 | 83,580 | 84,232 | △ 652 | △ 0.8 |
| 公共下水道事業 | 54,760 | 54,952 | △ 192 | △ 0.3 |
| 特定環境保全公共下水道事業 | 19,622 | 19,818 | △ 196 | △ 1.0 |
| 農業集落排水事業 | 7,996 | 8,251 | △ 255 | △ 3.1 |
| コミュニティ・プラント事業 | 1,202 | 1,211 | △ 9 | △ 0.7 |
| 水洗化人口 (C) 人 | 81,712 | 82,338 | △ 626 | △ 0.8 |
| 公共下水道事業 | 54,312 | 54,546 | △ 234 | △ 0.4 |
| 特定環境保全公共下水道事業 | 18,643 | 18,790 | △ 147 | △ 0.8 |
| 農業集落排水事業 | 7,589 | 7,827 | △ 238 | △ 3.0 |
| コミュニティ・プラント事業 | 1,168 | 1,175 | △ 7 | △ 0.6 |
| 普及率 (D) (B) / (A) % | 99.14 | 99.12 | 0.02 | — |
| 水洗化率 (E) (C) / (B) % | 97.77 | 97.75 | 0.01 | — |
| 公共下水道事業 | 99.18 | 99.26 | △ 0.08 | — |
| 特定環境保全公共下水道事業 | 95.01 | 94.81 | 0.20 | — |
| 農業集落排水事業 | 94.91 | 94.86 | 0.05 | — |
| コミュニティ・プラント事業 | 97.17 | 97.03 | 0.14 | — |
| 年間汚水処理水量 (F) m ³ | 13,618,004 | 14,197,234 | △ 579,230 | △ 4.1 |
| 公共下水道事業 | 9,752,484 | 10,293,203 | △ 540,719 | △ 5.3 |
| 特定環境保全公共下水道事業 | 2,628,565 | 2,685,584 | △ 57,019 | △ 2.1 |
| 農業集落排水事業 | 1,093,368 | 1,086,421 | 6,947 | 0.6 |
| コミュニティ・プラント事業 | 143,587 | 132,026 | 11,561 | 8.8 |
| 年間有収水量 (G) m ³ | 9,547,119 | 9,643,334 | △ 96,215 | △ 1.0 |
| 公共下水道事業 | 6,508,230 | 6,571,368 | △ 63,138 | △ 1.0 |
| 特定環境保全公共下水道事業 | 2,116,477 | 2,138,966 | △ 22,489 | △ 1.1 |
| 農業集落排水事業 | 819,117 | 826,826 | △ 7,709 | △ 0.9 |
| コミュニティ・プラント事業 | 103,295 | 106,174 | △ 2,879 | △ 2.7 |
| 有収率 (H) (G) / (F) % | 70.11 | 67.92 | 2.18 | — |
| 公共下水道事業 | 66.73 | 63.84 | 2.89 | — |
| 特定環境保全公共下水道事業 | 80.52 | 79.65 | 0.87 | — |
| 農業集落排水事業 | 74.92 | 76.11 | △ 1.19 | — |
| コミュニティ・プラント事業 | 71.94 | 80.42 | △ 8.48 | — |

(1) 前年度との比較

当年度の処理区域内人口は83,580人で、前年度と比較すると652人(0.8%)減少し、水洗化人口は81,712人で、前年度と比較すると626人(0.8%)減少している。

年間汚水処理水量は13,618,004 m³で、前年度と比較すると579,230 m³(4.1%)減少し、年間有収水量は9,547,119 m³で、前年度と比較すると96,215 m³(1.0%)減少している。有収率については70.1%で、前年度と比較すると2.2ポイント上昇している。

2 決算報告書

当事業年度における予算及び決算の内容は、別表1<p.14>に示すとおりである。なお、本決算報告書の金額は消費税を含んだ金額である。

(1) 収益的収入及び支出について

収益的収入の決算額3,215,329,033円は、予算額3,551,955,000円に対して90.5%の収入率となり、336,625,967円予算額を下回っている。

収益的収入の構成比率は、営業外収益60.4%、営業収益39.6%、特別利益0.0%で、決算額を前年度と比較すると、営業外収益が129,970,598円(6.3%)、営業収益が21,368,279円(1.7%)、特別利益が9,459,187円(97.6%)減少している。

一方、収益的支出の決算額3,102,320,309円は、予算額3,474,648,000円に対して89.3%の執行率で、不用額は283,268,691円となっている。また、翌年度繰越額は89,059,000円で、公共下水道処理場施設費の修繕費31,941,000円、委託料13,975,000円、特定環境保全公共下水道処理場施設費の委託料18,228,000円、修繕費12,980,000円、公共下水道管路施設費の修繕費11,935,000円である。

不用額の主なものは、公共下水道処理場施設費で動力費103,609,650円、委託料26,750,251円など、特定環境保全公共下水道処理場施設費で委託料24,058,157円、動力費22,960,668円などである。

収益的支出の構成比率は、営業費用95.5%、営業外費用4.5%で、決算額を前年度と比較すると、営業費用が213,367,637円(6.7%)、営業外費用が24,276,161円(14.8%)減少している。

(2) 資本的収入及び支出について

資本的収入の決算額 901,795,527 円は、予算額 1,083,946,000 円に対して 83.2%の収入率となり、182,150,473 円予算額を下回っている。

資本的収入の構成比率は、企業債 33.2%、補助金 29.4%、出資金 22.4%、負担金 14.4%、受益者負担金及び分担金 0.5%、その他資本的収入 0.1%で、決算額を前年度と比較すると、補助金が 47,312,000 円 (21.7%)、負担金が 16,317,000 円 (14.4%) 増加し、企業債が 103,700,000 円 (25.7%)、出資金が 16,616,000 円 (7.6%)、その他資本的収入が 116,873 円 (10.2%)、受益者負担金及び分担金が 77,040 円 (1.9%) 減少している。

一方、資本的支出の決算額 1,751,907,324 円は、予算額 1,993,187,100 円に対して 87.9%の執行率で、不用額は 74,259,276 円となっている。また、翌年度繰越額は 167,020,500 円で、農業集落排水管路施設整備費の工事請負費 45,999,100 円、公共下水道処理場施設整備費の委託料 44,040,000 円、工事請負費 2,200,000 円、特定環境保全公共下水道処理場施設整備費の工事請負費 24,211,000 円、公共下水道管路施設整備費の工事請負費 23,716,000 円、特定環境保全公共下水道管路施設整備費の工事請負費 13,683,000 円、農業集落排水処理場施設整備費の工事請負費 13,171,400 円である。

不用額の主なものは、公共下水道管路施設整備費で工事請負費 28,683,200 円、特定環境保全公共下水道処理場施設整備費で工事請負費 10,309,990 円などである。

資本的支出の構成比率は、企業債償還金 73.8%、建設改良費 26.2%で、決算額を前年度と比較すると、建設改良費が、41,326,976 円 (9.9%) 増加し、企業債償還金が 68,925,964 円 (5.1%) 減少している。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 850,111,797 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 36,650,787 円、過年度分損益勘定留保資金 542,082,082 円、当年度分損益勘定留保資金 271,378,928 円で補てん措置されている。

(3) 改良工事について

管路整備事業のうち主なものは、汚水管布設工事（下有知、上白金、市平賀、稲河）や既設のマンホールポンプ（板取、洞戸、保明・戸田）、同制御盤（下之保・富之保）の更新工事、マンホール防食ライニング工事（下有知）などを行い、管路の適正な維持管理に努められていた。

処理場施設整備事業としては、受変電設備更新工事（西田原）や浄化センター（倉知）低段流入ゲート更新工事、2・3系MLSS計更新工事、浄化センター（武芸川町）回分槽上澄水排出装置他更新工事、浄化センター（洞戸）シーケンスコントローラー更新工事、処理場（千疋）TNP計更新工事などが行われた。

(4) 企業債償還に係る元金償還及び企業債利息について

下水道使用料（消費税抜き）に対する企業債償還額は、次の表のとおりである。

(単位：円、%)

| 区 分 | 下水道使用料 (A) | 企業債償還額 | | | (B)／ (A) |
|-------|---------------|---------------|-------------|---------------|-------------|
| | | 元 金 | 利 息 | 合 計 (B) | |
| 令和5年度 | 1,122,876,907 | 1,293,457,634 | 94,835,333 | 1,388,292,967 | 123.6 |
| 令和4年度 | 1,139,316,978 | 1,362,383,598 | 121,925,394 | 1,484,308,992 | 130.3 |
| 令和3年度 | 1,162,388,648 | 1,398,543,671 | 155,352,260 | 1,553,895,931 | 133.7 |

3 損益計算書

当事業年度における損益計算書の内容は、別表2<p.15>に示すとおりである。なお、本損益計算書の金額は、消費税を含まない金額である。

当年度の総収益は 3,102,899,377 円、総費用においては 2,994,921,025 円である。

また、当年度における経営成績は、総収益から総費用を差し引いた 107,978,352 円が当年度の純利益となる。この純利益に前年度の繰越利益剰余金 186,033,315 円を加えた 294,011,667 円が当年度未処分利益剰余金である。

総収益、総費用及び純利益は、次の表のとおりである。

(単位：円、%)

| 区 分 | 総 収 益 | | 総 費 用 | | 差 引 (純利益) | |
|-------|---------------|------------|---------------|------------|-------------|------------|
| | 金 額 | 前年度 対比率 | 金 額 | 前年度 対比率 | 金 額 | 前年度 対比率 |
| 令和5年度 | 3,102,899,377 | 95.1 | 2,994,921,025 | 92.7 | 107,978,352 | 334.6 |
| 令和4年度 | 3,262,048,798 | 93.7 | 3,229,778,416 | 96.0 | 32,270,382 | 27.5 |
| 令和3年度 | 3,480,149,228 | 96.3 | 3,362,791,060 | 94.0 | 117,358,168 | 322.4 |
| 令和2年度 | 3,613,632,263 | — | 3,577,227,498 | — | 36,404,765 | — |

(1) 営業収益及び費用について

営業収益 1,159,512,807 円は、総収益の 37.4%を占め、前年度と比較すると、19,724,271 円 (1.7%) 減少している。

営業費用 2,867,076,375 円は、総費用の 95.7%を占め、前年度と比較すると、202,134,467 円 (6.6%) 減少している。

なお、当年度の営業損失については、営業収益から営業費用を差し引いた 1,707,563,658 円となり、前年度と比較すると、182,410,106 円 (9.7%) 減少している

営業収益は、次の表のとおりである。

(単位：円、%：前年度対比率)

| 区 分 | 下水道使用料 | 負担金 | その他の 営業収益 | 計 |
|-------|---------------|------------|--------------|---------------|
| 令和5年度 | 1,122,876,907 | 35,492,000 | 1,143,900 | 1,159,512,807 |
| | 98.6 | 91.1 | 120.3 | 98.3 |
| 令和4年度 | 1,139,316,978 | 38,969,000 | 951,100 | 1,179,237,078 |
| | 98.0 | 108.1 | 96.5 | 98.3 |
| 令和3年度 | 1,162,388,648 | 36,045,000 | 985,600 | 1,199,419,248 |
| | 99.3 | 99.0 | 93.5 | 99.3 |
| 令和2年度 | 1,170,897,664 | 36,405,000 | 1,053,700 | 1,208,356,364 |
| | — | — | — | — |

事業費用のうち営業費用に係る費用構成内容の前年度比較は、次の表のとおりである。

| 区分 | 令和5年度 | | 令和4年度 | | 比較 | |
|---------------------------|---------------|------------|---------------|------------|--------------|-------------------|
| | 金額 (円) | 構成比 (%) | 金額 (円) | 構成比 (%) | 差引金額 (円) | 前年度 増減率 (%) |
| 公共下水道 管路施設費 | 33,907,291 | 1.2 | 38,564,140 | 1.2 | △4,656,849 | 87.9 |
| 特定環境保全 公共下水道 管路施設費 | 23,137,409 | 0.8 | 24,454,892 | 0.8 | △1,317,483 | 94.6 |
| 農業集落排水管路 施設費 | 22,671,636 | 0.8 | 27,371,794 | 0.9 | △4,700,158 | 82.8 |
| コミュニティプラ ント管路施設費 | 2,544,543 | 0.1 | 7,336,880 | 0.2 | △4,792,337 | 34.7 |
| 雨水管路施設費 | 2,601,562 | 0.1 | 14,612,356 | 0.5 | △12,010,794 | 17.8 |
| ポンプ場施設費 | 5,003,724 | 0.2 | 5,242,659 | 0.2 | △238,935 | 95.4 |
| 公共下水道処理場 施設費 | 422,920,914 | 14.7 | 463,516,790 | 15.1 | △40,595,876 | 91.2 |
| 特定環境保全 公共下水道 処理場施設費 | 246,912,272 | 8.6 | 272,781,363 | 8.9 | △25,869,091 | 90.5 |
| 農業集落排水処理 場施設費 | 223,903,454 | 7.8 | 246,772,776 | 8.0 | △22,869,322 | 90.7 |
| コミュニティプラ ント処理場施設費 | 20,270,130 | 0.7 | 23,043,678 | 0.7 | △2,773,548 | 88.0 |
| 業 務 費 | 43,804,864 | 1.5 | 38,553,977 | 1.3 | 5,250,887 | 113.6 |
| 総 係 費 | 56,241,540 | 2.0 | 81,538,023 | 2.7 | △25,296,483 | 69.0 |
| 減 価 償 却 費 | 1,742,672,641 | 60.8 | 1,803,793,821 | 58.8 | △61,121,180 | 96.6 |
| 資 産 減 耗 費 | 20,484,395 | 0.7 | 21,627,693 | 0.7 | △1,143,298 | 94.7 |
| 計 | 2,867,076,375 | 100.0 | 3,069,210,842 | 100.0 | △202,134,467 | 93.4 |

(2) 営業外収益及び費用について

営業外収益 1,943,158,131 円は、総収益の 62.6%を占め、前年度と比較すると、129,965,963 円 (6.3%) 減少している。これは、主に補助金が 59,275,300 円 (20.9%)、長期前受金戻入が 40,298,753 円 (4.3%)、負担金が 31,041,731 円 (3.6%) 減少したことによる。

営業外収益は、次の表のとおりである。

| 区分 | 負担金 (円) | 補助金 (円) | 長期前受金 戻入 (円) | 雑収益 (円) | 計 (円) | 前年度 対比率 (%) |
|---------|-------------|-------------|-----------------|------------|---------------|-------------------|
| 令和 5 年度 | 822,687,000 | 224,198,600 | 892,827,715 | 3,444,816 | 1,943,158,131 | 93.7 |
| 令和 4 年度 | 853,728,731 | 283,473,900 | 933,126,468 | 2,794,995 | 2,073,124,094 | 91.4 |
| 令和 3 年度 | 812,853,000 | 386,901,769 | 1,066,199,237 | 2,690,452 | 2,268,644,458 | 94.8 |
| 令和 2 年度 | 730,977,000 | 603,050,900 | 1,058,313,814 | 1,807,647 | 2,394,149,316 | — |

営業外費用 127,844,650 円は、総費用の 4.3%を占め、前年度と比較すると、32,722,924 円 (20.4%) 減少している。これは、支払利息及び企業債取扱諸費が 27,090,061 円 (22.2%)、雑支出が 5,632,863 円 (14.6%) 減少したためである。

営業外費用は、次の表のとおりである。

| 区分 | 支払利息及び 企業債取扱諸費 (円) | 雑支出 (円) | 計 (円) | 前年度 対比率 (%) |
|---------|--------------------------|------------|-------------|-------------------|
| 令和 5 年度 | 94,835,333 | 33,009,317 | 127,844,650 | 79.6 |
| 令和 4 年度 | 121,925,394 | 38,642,180 | 160,567,574 | 89.8 |
| 令和 3 年度 | 155,352,260 | 23,540,546 | 178,892,806 | 76.2 |
| 令和 2 年度 | 189,469,888 | 45,326,971 | 234,796,859 | — |

4 剰余金計算書

本剰余金計算書の金額は、消費税を含まない金額である。

(1) 資本剰余金について

ア 補助金は、当年度変動額はなく、当年度末残高は、前年度末残高 667,550,273 円と同じである。

イ 受贈財産評価額は、当年度変動額はなく、当年度末残高は、前年度末残高 108,630,756 円と同じである。

(2) 利益剰余金について

ア 未処分利益剰余金は、前年度末残高 186,033,315 円であるが、これに当年度変動額 107,978,352 円を加えて、当年度末残高は、294,011,667 円である。

5 貸借対照表

当事業年度における貸借対照表の内容は、別表 3<p.16>に示すとおりである。なお、本貸借対照表の金額は、消費税を含まない金額である。

(1) 資産について

当年度の資産総額は 36,365,846,187 円で、前年度と比較すると、953,625,818 円 (2.6%) 減少している。

資産の構成は、固定資産 34,979,000,578 円 (96.2%) と、流動資産 1,386,845,609 円 (3.8%) で、前年度と比較すると、固定資産は 1,315,278,527 円 (3.6%) 減少し、流動資産は 361,652,709 円 (35.3%) 増加している。

流動資産の内訳は、現金・預金 1,275,536,623 円 (92.0%)、未収金 114,377,970 円であるが、未収金に対し貸倒引当金 3,068,984 円が設定されているため、計上は 111,308,986 円 (8.0%) となる。前払金は 0 円 (0.0%) であった。前年度と比較すると、現金・預金は 414,001,130 円 (48.1%) 増加し、前払金が 36,750,000 円 (皆減)、未収金が 14,923,973 円 (11.5%) 減少している。

(2) 負債について

当年度の負債総額は 27,069,079,031 円で、前年度と比較すると 1,264,019,170 円 (4.5%) 減少している。

負債の構成は、繰延収益 18,023,057,157 円 (66.6%)、固定負債 7,247,109,850 円 (26.8%)、流動負債 1,798,912,024 円 (6.6%) である。

固定負債は、企業債 7,107,476,221 円 (98.1%) 及び引当金 139,633,629 円 (1.9%) で、前年度と比較すると、引当金が 8,080,426 円 (6.1%) 増加したが、企業債が 889,818,674 円 (11.1%) 減少している。

流動負債は、企業債 1,188,932,040 円 (66.1%)、未払金 376,608,291 円 (20.9%) とその他流動負債 216,730,598 円 (12.1%)、引当金 16,641,095 円 (0.9%) で、前年度と比較すると、未払金が 117,324,514 円 (45.2%)、その他流動負債が 102,170,054 円 (89.2%)、引当金が 851,467 円 (5.4%) 増加したが、企業債が 104,538,960 円 (8.1%) 減少している。

繰延収益 18,023,057,157 円は、長期前受金 21,906,577,241 円から長期前受金収益化累計額 3,883,520,084 円を減じたもので、前年度と比較すると、498,087,997 円 (2.7%) 減少している。これは、長期前受金が 373,786,431 円 (1.7%) 増加し、長期前受金収益化累計額が 871,874,428 円 (29.0%) 減少したためである。

(3) 資本について

当年度の資本の総額は 9,296,767,156 円で、前年度と比較すると、310,393,352 円 (3.5%) 増加している。

資本の構成は、資本金 8,226,574,460 円 (88.5%) と剰余金 (資本剰余金 + 利益剰余金) 1,070,192,696 円 (11.5%) で、前年度と比較すると、資本金が 202,415,000 円 (2.5%)、剰余金が 107,978,352 円 (11.2%) 増加している。

6 キャッシュ・フロー計算書 (別表 4<p.17>)

当年度のキャッシュ・フローは、業務活動により 1,604,407,363 円増加し、投資活動により 398,463,599 円減少、財務活動により 791,942,634 円減少した。その結果資金期末残高は、1,275,536,623 円となり、前年度と比較すると 414,001,130 円増加した。

7 経営指標

令和5年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、前年度比2.9ポイント増の103.6%となり、健全経営の水準とされる100%を上回った。また、汚水処理原価を使用料収入でどれだけまかなっているかを示す経費回収率は、3.1ポイント増の75.2%となり、汚水処理の維持管理費用を下水道使用料で賄っていない状況が続いている。

一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比3.5ポイント増の17.8%、法定耐用年数を経過した管路延長の割合を示す管路老朽化率は前年度比1.7ポイント増の8.3%となった。これは、管路は公共下水道事業が供用開始後50年を経過しているのに対し、特定環境保全公共下水道が平成における供用開始、農業集落排水事業が昭和61年の供用開始で法定耐用年数である50年を経過していないため、本格的な更新需要のピークはこれからであることから、現在は施設の電気機械設備の更新を優先的に実施しているからである。将来の更新需要に備え、現在の経営状況を維持しつつ、引き続き計画的な施設更新を行っていただきたい。

経営指標の推移は、次の表のとおりである。

(単位：%)

| 経営指標 | 令和5年度 | 令和4年度 | 前年度対比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| 経常収支比率 | 103.6 | 100.7 | 2.9 |
| 経費回収率 | 75.2 | 72.1 | 3.1 |
| 有形固定資産減価償却率 | 17.8 | 14.3 | 3.5 |
| 管路老朽化率 | 8.3 | 6.6 | 1.7 |

※経費回収率は公共・特環・農集の維持管理費に対する下水道使用料で賄われる割合

第5 むすび

以上が、令和5年度関市下水道事業会計決算書及び附属資料等を審査した結果の概要である。

下水道は、生活環境の保全及び浸水防止等、安全で快適な生活環境に欠かせない重要な事業であるため、既設の設備等の老朽化に伴う修繕や、更新・耐震化等を計画的に進める必要がある。今後は、多額の工事費用が継続的に必要であることが見込まれ、経営環境は厳しくなっていくことが予想される。

本市の下水道事業は、経営基盤の強化や財政マネジメントの向上に、的確に取り組むため、令和2年4月1日から公営企業会計へ移行した。これにより、経営成績や財政状況をよりの確に把握することが可能となり、経営の実態がより明らかに示されることになった。

令和3年度には、期間を令和3年度～令和12年度とする「関市公共下水道事業経営戦略」及び「関市農業集落排水事業経営戦略」を策定している。

策定された「経営戦略」に基づき、事業を計画的、効率的に推進されることを望むものである。また、災害時の危機管理体制の強化も含め、持続可能な下水道事業の経営に努められたい。

令和4年度には、上下水道事業経営審議会より「水道料金、下水道使用料のあり方」について、安定した上下水道事業の継続を可能とする施設設備を将来にわたり維持、更新、管理していくために、令和6年度に水道料金、下水道使用料について、平均改定率22%の増額改定を行うことと、概ね5年に1度、同審議会での現行の料金体系での経営状況について審議し、料金改定の必要性を確認することなどの付帯意見を含む答申を受けた。このことにより、令和6年7月請求分の使用料から料金改定が実施された。答申の付帯意見を踏まえ、経営状況の把握に努め料金改定の必要性を確認するとともに、令和3年度に策定された「関市公共下水道事業経営戦略」及び「関市農業集落排水事業経営戦略」についても、成果検証と見直しに努められたい。

上下水道が市民生活の重要なライフラインで、災害時には最優先復旧事業であることから、施設更新、管路更新事業の実行性を高めるためにもこれらの投資的事業等に対する一般会計からの基準外繰出（出資・負担のあり方）に関する基準について、協議を進め『覚書（協定）』等で明確にするなどして、経営戦略、ストックマネジメント計画等に反映することも検討されたい。

水道事業と同様に人口減少、市民の節水意識の高まり及び節水機器の普及等による使用料収入の減少や雨水等の不明水の増による汚水処理コストの

大幅な増加に加え、老朽化した施設の更新需要がピークを迎えることによる固定費の増加が見込まれる状況であるため、今後も、効率的な経費の削減、適切な料金水準の検討や積極的な収納対策を念頭に、市民一人ひとりが幸せを実感できる「しあわせなまち」を未来へつなげるために取り組まれるように望むものである。

別表 1

令和5年度

下水道事業会計予算・決算対照表

[消費税込]

| 1 収益的収支 | | 収益的 | | | | 収支 | | | | 的 | | | | 出 | | |
|-----------|----|---------------|-------|---------------|-------|--------------|------|---------------|------------|---------------|-------|---------------|-------|------------|-------------|---------------|
| | | 予算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 予算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 予算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 予算額に対する決算額の比率 |
| 科目 | 区分 | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 | 円 | % |
| 1 下水道事業収益 | | 3,551,955,000 | 100.0 | 3,215,329,033 | 100.0 | △336,625,967 | 90.5 | 3,406,987,000 | 67,661,000 | 3,474,648,000 | 100.0 | 3,102,320,309 | 100.0 | 89,059,000 | 283,268,691 | 89.3 |
| (1) 営業収益 | | 1,306,726,000 | 36.8 | 1,271,800,491 | 39.6 | △34,925,509 | 97.3 | 3,252,497,000 | 67,661,000 | 3,320,158,000 | 95.6 | 2,962,071,176 | 95.5 | 89,059,000 | 269,027,824 | 89.2 |
| (2) 営業外収益 | | 2,245,229,000 | 63.2 | 1,943,300,103 | 60.4 | △301,928,897 | 86.6 | 149,490,000 | 0 | 149,490,000 | 4.3 | 140,249,133 | 4.5 | 0 | 9,240,867 | 93.8 |
| (3) 特別利益 | | 0 | - | 228,439 | 0.0 | 228,439 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | 0 | 0.0 |
| | | | | | | | | 5,000,000 | 0 | 5,000,000 | 0.1 | 0 | - | 0 | 5,000,000 | 0.0 |

| 2 資本的収支 | | 資本的 | | | | 資本的 | | | | 的 | | | | 出 | | |
|-----------------|----|-------------|-------|-------------|-------|--------------|-------|---------------|-------------|---------------|-------|---------------|-------|-------------|------------|---------------|
| | | 予算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 予算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 予算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 予算額 | 構成比 | 予算額に対する決算額の比率 |
| 科目 | 区分 | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 | 円 | % |
| 1 資本的収入 | | 917,346,000 | 100.0 | 901,795,527 | 100.0 | △182,150,473 | 83.2 | 1,810,333,000 | 182,854,100 | 1,993,187,100 | 100.0 | 1,751,907,324 | 100.0 | 167,020,500 | 74,259,276 | 87.9 |
| (1) 企業債 | | 411,100,000 | 52.7 | 299,100,000 | 33.2 | △272,000,000 | 52.4 | 504,748,000 | 182,854,100 | 687,602,100 | 34.5 | 458,449,690 | 26.2 | 167,020,500 | 62,131,910 | 66.7 |
| (2) 出資金 | | 202,415,000 | 18.7 | 202,415,000 | 22.4 | 0 | 100.0 | 1,305,585,000 | 0 | 1,305,585,000 | 65.5 | 1,293,457,634 | 73.8 | 0 | 12,127,366 | 99.1 |
| (3) 負担金 | | 90,365,000 | 8.3 | 129,746,000 | 14.4 | 39,381,000 | 143.6 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | 0 | 0.0 |
| (4) 補助金 | | 210,273,000 | 20.0 | 265,422,000 | 29.4 | 48,549,000 | 122.4 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | 0 | 0.0 |
| (5) 受益者負担金及び分担金 | | 2,159,000 | 0.2 | 4,078,270 | 0.5 | 1,919,270 | 188.9 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | 0 | 0.0 |
| (6) その他資本的収入 | | 1,034,000 | 0.1 | 1,034,257 | 0.1 | 257 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | - | 0 | - | 0 | 0 | 0.0 |

下水道事業会計比較損益計算書

〔消費税抜〕

| 科目 | 収 益 | | | 部 | | | 費 用 | | | 部 | | |
|--------------|-----|---------------|-------|------------|---------------|-------|---------------|------------|---------------|-------|-------|------------|
| | 区 分 | 令和5年度 | | 前年度 対比率 | 比較増減 | 令和4年度 | | 前年度 対比率 | 比較増減 | 令和4年度 | | 前年度 対比率 |
| | | 金額 | 構成比 | | | 金額 | 構成比 | | | 金額 | 構成比 | |
| 1 営業収益 | | 円 | % | % | 円 | % | 円 | % | 円 | % | % | |
| (1) 下水道使用料 | | 1,159,512,807 | 37.4 | 98.3 | △ 19,724,271 | 36.1 | 2,867,076,375 | 95.7 | △ 202,134,467 | 95.0 | 93.4 | |
| (2) 負担金 | | 1,122,876,907 | 36.2 | 98.6 | △ 16,440,071 | 34.9 | 33,907,291 | 1.1 | △ 4,656,849 | 1.2 | 87.9 | |
| (3) その他の営業収益 | | 35,492,000 | 1.2 | 91.1 | △ 3,477,000 | 1.2 | 23,137,409 | 0.8 | △ 1,317,483 | 0.8 | 94.6 | |
| 2 営業外収益 | | 1,143,900 | 0.0 | 120.3 | 192,800 | 0.0 | 22,671,636 | 0.7 | △ 4,700,158 | 0.8 | 82.8 | |
| (1) 負担金 | | 1,943,158,131 | 62.6 | 93.7 | △ 129,965,963 | 63.6 | 2,544,543 | 0.1 | △ 4,792,337 | 0.2 | 34.7 | |
| (2) 補助金 | | 822,687,000 | 26.5 | 96.4 | △ 31,041,731 | 26.2 | 2,601,562 | 0.1 | △ 12,010,794 | 0.5 | 17.8 | |
| (3) 長期前受金戻入 | | 224,198,600 | 7.2 | 79.1 | △ 59,275,300 | 8.7 | 5,003,724 | 0.2 | △ 238,935 | 0.2 | 95.4 | |
| (4) 雑収益 | | 892,827,715 | 28.8 | 95.7 | △ 40,298,753 | 28.6 | 422,920,914 | 14.1 | △ 40,595,876 | 14.4 | 91.2 | |
| 3 特別利益 | | 3,444,816 | 0.1 | 123.2 | 649,821 | 0.1 | 246,912,272 | 8.2 | △ 25,869,091 | 8.4 | 90.5 | |
| (1) その他特別利益 | | 228,439 | 0.0 | 2.4 | △ 9,459,187 | 0.3 | 223,903,454 | 7.5 | △ 22,869,322 | 7.6 | 90.7 | |
| | | 228,439 | 0.0 | 2.4 | △ 9,459,187 | 0.3 | 20,270,130 | 0.7 | △ 2,773,548 | 0.7 | 88.0 | |
| | | | | | | | 43,804,864 | 1.4 | 5,250,887 | 1.2 | 113.6 | |
| | | | | | | | 56,241,540 | 1.9 | △ 25,296,483 | 2.5 | 69.0 | |
| | | | | | | | 1,742,672,641 | 58.2 | △ 61,121,180 | 55.8 | 96.6 | |
| | | | | | | | 20,484,395 | 0.7 | △ 1,143,298 | 0.7 | 94.7 | |
| | | | | | | | 127,844,650 | 4.3 | △ 32,722,924 | 5.0 | 79.6 | |
| | | | | | | | 94,835,333 | 3.2 | △ 27,090,061 | 3.8 | 77.8 | |
| | | | | | | | 33,009,317 | 1.1 | △ 5,632,863 | 1.2 | 85.4 | |
| | | | | | | | 0 | — | 0 | — | — | |
| | | | | | | | 0 | — | 0 | — | — | |
| 費用合計 | | 3,102,899,377 | 100.0 | 95.1 | △ 159,149,421 | 100.0 | 2,994,921,025 | 100.0 | △ 234,857,391 | 100.0 | 92.7 | |
| 当年度純利益 | | 107,978,352 | | | 75,707,970 | | | | | | | |

別表3

令和5年度・令和4年度
下水道事業会計比較貸借対照表

〔消費税抜〕

| 勘定科目 | 資産 | | | | 負債・資本 | | | | 前年度 対比率 % | | | |
|-------------|----------------|----------|----------------|----------|-----------------|----------|-----------------|----------|-----------------|-------|---------------|-------|
| | 区分 | | 部の | | 区分 | | 部の | | | | | |
| | 令和5年度 金額 | 構成比 % | 令和4年度 金額 | 構成比 % | 令和5年度 金額 | 構成比 % | 令和4年度 金額 | 構成比 % | | | | |
| 1 固定資産 | 34,979,000,578 | 96.2 | 36,294,279,105 | 97.3 | △ 1,315,278,527 | 96.4 | 7,247,109,850 | 19.9 | 8,128,848,098 | 21.8 | △ 881,738,248 | 89.2 |
| (1)有形固定資産 | 34,979,000,578 | 96.2 | 36,294,279,105 | 97.3 | △ 1,315,278,527 | 96.4 | 7,107,476,221 | 19.5 | 7,997,294,895 | 21.4 | △ 889,818,674 | 88.9 |
| イ土地 | 1,250,158,441 | 3.4 | 1,250,158,441 | 3.4 | 0 | 100.0 | 7,107,476,221 | 19.5 | 7,997,294,895 | 21.4 | △ 889,818,674 | 88.9 |
| ロ建物 | 1,354,077,271 | 3.7 | 1,398,422,305 | 3.8 | △ 44,345,034 | 96.8 | 139,633,629 | 0.4 | 131,553,203 | 0.4 | 8,080,426 | 106.1 |
| ハ構築物 | 27,199,003,039 | 74.8 | 28,258,106,161 | 75.7 | △ 1,059,103,122 | 96.3 | 139,633,629 | 0.4 | 131,553,203 | 0.4 | 8,080,426 | 106.1 |
| ニ機械及び装置 | 5,148,626,251 | 14.2 | 5,371,083,538 | 14.4 | △ 222,457,287 | 95.9 | 1,798,912,024 | 4.9 | 1,683,104,949 | 4.5 | 115,807,075 | 106.9 |
| ホ車両及び運搬具 | 5,192,562 | 0.0 | 6,902,590 | 0.0 | △ 1,710,028 | 75.2 | 1,188,932,040 | 3.3 | 1,293,471,000 | 3.5 | △ 104,538,960 | 91.9 |
| ヘ工具器具及び備品 | 4,106,650 | 0.0 | 3,769,706 | 0.0 | 336,944 | 108.9 | 1,188,932,040 | 3.3 | 1,293,471,000 | 3.5 | △ 104,538,960 | 91.9 |
| ト建設仮勘定 | 17,836,364 | 0.1 | 5,836,364 | 0.0 | 12,000,000 | 305.6 | 376,608,291 | 1.0 | 259,283,777 | 0.7 | 117,324,514 | 145.2 |
| 2 流動資産 | 1,386,845,609 | 3.8 | 1,025,192,900 | 2.7 | 361,652,709 | 135.3 | 16,641,095 | 0.0 | 15,789,628 | 0.0 | 851,467 | 105.4 |
| (1)現金・預金 | 1,275,536,623 | 3.5 | 861,535,493 | 2.3 | 414,001,130 | 148.1 | 16,641,095 | 0.0 | 15,789,628 | 0.0 | 851,467 | 105.4 |
| (2)未収金 | 114,377,970 | 0.3 | 129,301,943 | 0.3 | △ 14,923,973 | 88.5 | 16,641,095 | 0.0 | 15,789,628 | 0.0 | 851,467 | 105.4 |
| 貸倒引当金 | △ 3,068,984 | 0.0 | △ 2,394,536 | 0.0 | △ 674,448 | 128.2 | 216,730,598 | 0.6 | 114,560,544 | 0.3 | 102,170,054 | 189.2 |
| (3)前払金 | 0 | — | 36,750,000 | 0.1 | △ 36,750,000 | 皆減 | 18,023,057,157 | 49.7 | 18,521,145,154 | 49.6 | △ 498,087,997 | 97.3 |
| 3 繰延収益 | | | | | | | 21,906,577,241 | 60.3 | 21,532,790,810 | 57.7 | 373,786,431 | 101.7 |
| (1)長期前受金 | | | | | | | △ 3,883,520,084 | △ 10.6 | △ 3,011,645,656 | △ 8.1 | △ 871,874,428 | 129.0 |
| 長期前受金除利益累計額 | | | | | | | 8,226,574,460 | 22.6 | 8,024,159,460 | 21.5 | 202,415,000 | 102.5 |
| 4 資本金 | | | | | | | 1,070,192,696 | 2.9 | 962,214,344 | 2.6 | 107,978,352 | 111.2 |
| 5 剰余金 | | | | | | | 776,181,029 | 2.1 | 776,181,029 | 2.1 | 0 | 100.0 |
| (1)資本剰余金 | | | | | | | 471,444,083 | 1.3 | 471,444,083 | 1.2 | 0 | 100.0 |
| イ他会計補助金 | | | | | | | 130,989,907 | 0.4 | 130,989,907 | 0.4 | 0 | 100.0 |
| ロ国庫補助金 | | | | | | | 65,116,283 | 0.2 | 65,116,283 | 0.2 | 0 | 100.0 |
| ハ県補助金 | | | | | | | 108,630,756 | 0.3 | 108,630,756 | 0.3 | 0 | 100.0 |
| ニ受贈財産評価額 | | | | | | | 294,011,667 | 0.8 | 186,033,315 | 0.5 | 107,978,352 | 158.0 |
| (2)利益剰余金 | | | | | | | 294,011,667 | 0.8 | 186,033,315 | 0.5 | 107,978,352 | 158.0 |
| イ未処分利益剰余金 | | | | | | | 36,365,846,187 | 100.0 | 36,365,846,187 | 100.0 | 953,625,818 | 97.4 |
| 合計 | 36,365,846,187 | 100.0 | 37,319,472,005 | 100.0 | △ 953,625,818 | 97.4 | 36,365,846,187 | 100.0 | 37,319,472,005 | 100.0 | △ 953,625,818 | 97.4 |

別表4

令和5年度 関市下水道事業キャッシュフロー計算書
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

| | | |
|-----|-------------------------|----------------------|
| I | 業務活動によるキャッシュ・フロー: | |
| | 当年度純利益(損失は△) | 107,978,352 |
| | 減価償却費 | 1,742,672,641 |
| | 貸倒引当金の増減額(減少は△) | 674,448 |
| | 賞与引当金の増減額(減少は△) | 843,080 |
| | 退職給付引当金の増減額(減少は△) | 8,080,426 |
| | 長期前受金戻入額 | △ 892,827,715 |
| | 支払利息 | 94,835,333 |
| | 資産減耗費 | 20,484,395 |
| | 未収金の増減額(増加は△) | 14,923,973 |
| | 前払金の増減額(増加は△) | 36,750,000 |
| | 未払金の増減額(減少は△) | 80,529,991 |
| | その他流動負債の増減額(減少は△) | 484,297,772 |
| | 小計 | 1,699,242,696 |
| | 利息の支払額 | △ 94,835,333 |
| | 業務活動によるキャッシュ・フロー | <u>1,604,407,363</u> |
| II | 投資活動によるキャッシュ・フロー: | |
| | 有形固定資産の取得による支出 | △ 398,463,599 |
| | 国庫補助金等による収入 | 0 |
| | 一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入 | 0 |
| | 投資活動によるキャッシュ・フロー | <u>△ 398,463,599</u> |
| III | 財務活動によるキャッシュ・フロー: | |
| | 建設改良企業債による収入 | 299,100,000 |
| | 建設改良企業債の償還による支出 | △ 1,293,457,634 |
| | 他会計からの出資による収入 | 202,415,000 |
| | 財務活動によるキャッシュ・フロー | <u>△ 791,942,634</u> |
| IV | 資金増加(減少)額 | 414,001,130 |
| V | 資金期首残高 | 861,535,493 |
| VI | 資金期末残高 | <u>1,275,536,623</u> |